



SPECIAL STEEL

March/2025

すてい〜る

目次

● 特集 2025年「新年賀詞交歓会」

● 2025年「新年賀詞交歓会」開催	1
● 各支部でも新年賀詞交歓会	5
● 2024年度「第6回全国ボウリング大会」を開催	7
● チャイルド・スポンサーシップ支援チャイルドからお礼の手紙が届きました!	8
● 新・支部長訪問 八木栄治 (株)白鋼 代表取締役社長	9
● 理事会・委員会報告	10
● 事務局だより・編集後記	裏表紙

2025年 一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会 新年賀詞交歓会



一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

(一社)全日本特殊鋼流通協会 2025年「新年賀詞交歓会」開催



新年の祝賀会としては5年ぶりの開催 新会長のもと、新たな体制で特殊鋼業界の未来を語り合う場に

全日本特殊鋼流通協会は2025年1月20日(月)、東京・千代田区の経団連会館2階ホールで「2025年新年賀詞交歓会」を開催。来賓や正会員、賛助会員など約300名が参加した。昨年は、新型コロナウイルス以降中止されていた同会を4年ぶりに実施予定だったが、能登半島地震の影響から「新春の集い」として開催していた。

そのため、新年祝賀会としては5年ぶりに開催され、その冒頭で昨年6月に第7代会長に就任した久木田至氏(櫻井鋼鐵・代表取締役社長)があいさつを行った。久木田会長は、今年目標として労務費の転嫁問題に粘り強く取り組む方針を示し、会長就任時に掲げた「儲かる流通業界」の実現を目指す姿勢を強調した。また、同氏の持論である「風を讀

む」をテーマに、業界全体が協力し合う重要性を訴えた。

ご来賓を代表してあいさつされた川村伸弥様(経済産業省製造産業局金属課金属技術室長)は、GX・DX推進や賃上げ、取引価格の適正化の重要性を強調されるとともに、政府の支援策も示された。

続いて、特殊鋼倶楽部会長の清水哲也様(大同特殊鋼・代表取締役社長執行役員)が、久木田会長の呼びかけに賛同しながらあいさつされ、乾杯の発声を務められた。

その後、特殊鋼流通業界の関係者が一堂に会し、

活気に満ちた懇談が行われた。最後に、東京支部長の三上晃史氏(ノボル鋼鐵・代表取締役社長)が協会活動への協力や6月の全国総会への参加を呼びかけ、力強い三本締めで締めくくられた。



全特協会長 年頭のあいさつ

(一社)全日本特殊鋼流通協会 会長 久木田至

「儲かる流通業界」の実現に取り組むとともに 「風を読み」未来を切り拓く——新たな挑戦と成長の年に向けた一年に



年頭にあたり防災意識の重要性を再認識

皆様、新年あけましておめでとうございます。

まず初めに、昨年の能登半島地震や集中豪雨で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方のご遺族には、心より哀悼の意を表します。新年を祝う気持ちの一方で、改めて災害の脅威を考えさせられます。私は関西出身ですが、今年で阪神・淡路大震災から30年を迎え、防災の重要性を再認識しています。東日本大震災の記憶を風化させず、今後想定される南海トラフ地震に備え、一人ひとりが防災意識を高めていくことが大切です。

特殊鋼業界の現状と2025年の 取り組み・方針

昨年6月の定時総会で第7代会長に就任し、初めて新年のあいさつをさせていただきます。不慣れな点もありますが、よろしく願いいたします。

昨年の特殊鋼流通業界は、高水準の鋼材価格にもかかわらず、自動車の検査不正や建設・設備投資の低迷により需要不足となりました。その結果、流

通業界は鋼材価格や労務費、運送費の上昇分を十分に価格転嫁できず、利益確保に苦勞しています。なお、労務費の転嫁については、政府の指針を参考に交渉を続ける方針であり、政府が検討中の下請法の改正にも注視しています。私が会長就任の際に申し上げた「儲かる流通業界」の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

当協会に関しては、重要事業である「人材育成を主眼とした研修事業」に一層注力し、特に「特殊鋼販売技士」および「特殊鋼販売加工技士」の研修事業のWeb化を引き続き積極的に進め、受講者の負担軽減などに寄与することを目指します。

特殊鋼業界のビジネス環境と 経済的課題への懸念

現在、私たちのビジネス環境には多くの懸念があります。トランプ米国大統領の就任に伴い、関税引き上げや移民排除などの政策が世界に影響を与えることが懸念されます。また、わが国では昨年秋の衆院選で与党が過半数を割り、今後の国会での予算・法案の進展に注視する必要があります。さらに、今年は円安や金利上昇、賃上げ、インフレといった課題が山積しており、しっかりと対応する必要があります。

変化と再生、節目となる年に 期待を寄せる

今年は、「巳(へび)」年で、へびは「再生と変化」を象徴していることから、特殊鋼業界にとって実り多い年となることを期待しています。また、

今年は第2次世界大戦集結から80年、また阪神・淡路大震災から30年を迎える節目の年であり、「大阪万博」の開催は非常に意義深いと感じています。関西に住む私にとっては、万博に多くの皆様が訪れることを願っています。

今年のテーマー「経営における『風を読む』」

これはかねてからの私の持論ですが、以前、特殊鋼倶楽部の中締めでもお話ししたかもしれません。今年のテーマとして「風を読む」という言葉を掲げたいと思っています。ゴルフの下手な私ですが、アゲンストの風やフォローの風、右からのサイドウイン、左からのサイドウインなど、これらの風を事前に読み切って経営に役立てていきたいということが、私の所存です。皆様も、ほんの少し心の隅でかまいませんので、「風を読む」ということを意識し、一人でも先んじて経営に携わっていただければと思います。

最後に、ここにお集まりの皆様のご健勝と、特殊鋼業界の益々の発展を祈念いたしまして、私の新年のごあいさつとさせていただきます。ご清聴、誠にありがとうございました。



(一社)全日本特殊鋼流通協会 2025年「新年賀詞交歓会」

ご来賓祝辞

経済産業省 製造産業局 金属課 金属技術室長 川村伸弥 様

特殊鋼業界における新たな用途開発や市場拡大、
さらに取引価格の適正化に向けて、経済産業省は引き続き支援を継続する



久木田会長からお話がありましたように、昨年は元日早々に発生した能登半島地震をはじめ、台風や異常気象による災害が相次ぎ、大変な1年となりました。こうした災害に対し、私たち経済産業省も引き続き復旧・復興支援を進めております。また、社会を取り巻く多様な課題に対しても、各種政

策を推進し、さまざまな施策を展開しているところです。

特に重要なのは、皆様も十分ご承知の通り、GX(グリーントランスフォーメーション)、DX(デジタルトランスフォーメーション)、そして経済安全保障の強化です。そのような中、特殊鋼業界の皆様も、例えば自動車需要の伸び悩みや、GXの一環として進むEV化の影響を受けておられるかと思えます。

しかしながら、自動車分野に限らず、特殊鋼の新たな用途開発や市場拡大の可能性は大いにあると考えています。われわれも引き続き支援してまいりますので、ぜひ皆様にも用途拡大に向けた取り組みを一層推進いただければと思います。また、賃上げや取引価格の適正化についても、DX化の推進や新たな人材育成など、さまざまな工夫が求められるところです。取引価格の適正

化に関しては、久木田会長からお話がありました通り、下請法の改正などの取り組みを進めており、経済産業省としても、産業界に対して適正価格の重要性を引き続き訴えていく考えです。

さて、今年はいよいよ大阪・関西万博が催されます。私は東北出身ではありますが、経済産業省において約8年間、関西万博の企画立案や関連施策に携わってまいりました。この万博は、日本のみならず世界にとっても意義深いイベントです。ぜひ、皆様にもご来場いただき、ご家族やご友人とともにご参加いただければ大変ありがたく思います。

最後になりますが、皆様のますますのご健勝とご発展、そして協会の一層の繁栄を心よりお祈り申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

乾杯ご発声

(一社)特殊鋼倶楽部 会長 清水哲也 様



特殊鋼は今後も社会の基盤を支える重要な材料
社会の変化に適応しながら持続的成長を目指そう

昨年の流行語大賞をご存じでしょうか。「ふてほど」が選ばれました。これはドラマ『不適切にもほどがある!』のタイトルに由来しています。このドラマは、1986年を舞台に、令和の現代と昭和の価値観の違いをコミカルに描いています。特に、現代社会に対するシニカルな視点が印象的でした。ここ

にいらっしゃる皆様の多くは、40年前の出来事をよく覚えていらっしゃると思います。当時を懐かしみながら、40年という時間の流れの中で、社会は大きく変化しているのだと、改めて実感させられる作品でした。

特殊鋼の構造や需要は、過去40年間の社会の変化に伴い、大きく変わって

きました。先ほど会長から「風を読む」というお話がありました。今後30年、40年先がどうなるかは予測が難しいですが、確実に言えるのは、変化のスピードがさらに速くなり、社会の流れがより激しくなるということです。

ただし、特殊鋼が社会の基盤を支える重要な材料であり続けることは間違いありません。しかし、どのような種類の材料が求められるのか、どの程度の需要があるのかは、時代とともに変化していくでしょう。だからこそ、私たちは引き続き「風を読む」力を養い、社会の変化や需要の変遷を見極め、したたかに、そしてしなやかに変化していく必要があります。それこそが、持続的な成長と新たな発展へとつながる

のではないかと思います。

さて、現状を見ますと、特殊鋼の需要は量的に厳しい状況が続いていますが、そろそろ回復の兆しが見え始める

ことを期待したいところです。統計データによれば、今年はやや好転するとの見通しもあり、大いに期待を寄せています。



中締めあいさつ

(一社)全日本特鋼流通協会 東京支部長 三上晃史

久木田会長のもと、新たな体制で始動する 全特協の「ヘビー級」の幸せを祈り、力強い三本締めが響く



この年末年始は、9連休や11連休もあったようで、長いお休みを満喫された方も多かったのではないのでしょうか。幸いにも天候にも恵まれ、昨年のような災害もなく、穏やかな新年を迎えることができたように感じます。

一方で、業績の方も穏やかで、私もさまざまな賀詞交歓会に参加する中で、「今年一年はもう少し辛抱が必要だ」という実感を抱いています。

さて、今年度から久木田新会長のも

とで、新たな全特協の体制がスタートしました。私をはじめ、東京・大阪・名古屋の支部長も新しい顔ぶれとなっております。この新体制のもと、6月には仙台で全国総会が開催されます。西日本エリアにお住まいの皆様には、交通が少し不便かもしれませんが、ぜひ積極的にご参加いただけたらうれし

く思います。

最後に、本年は巳(へび)年です。各地の賀詞交歓会では「脱皮」や「成長」といったキーワードがよく聞かれますが、私は少し違った視点で、ここにお集まりの皆様に“ヘビー級”の幸せが訪れることを心より願い、三本締めで締めくりたいと思います。



各支部でも新年賀詞交歓会

東京支部

開催日時：2025年1月20日(月)
開催場所：経団連会館2階ホール

出席者：約300名
(一社)全日本特殊鋼流通協会との合同開催

大阪支部

開催日時：2025年1月6日(月)
開催場所：リーガロイヤルホテル

出席者：約700名

冒頭、三団体を代表して全特協・大阪支部の古池晃支部長(古池鋼業・代表取締役社長)があいさつし、「昨年は温暖化で秋がなかったような気候だったが、特殊鋼業界は春から一気に冬になったようだった。4月から始まる大阪万博が関西経済の起爆剤になることを期待したい。今年の干支は乙巳(きのとみ)で、努力を重ねて物事を安定させる縁起のよい年らしいので、干支のように一段と早くなる経済変化に対応していきたい」と述べた。続いて、来賓として近畿経済産業局産業部の河上康裕次長よりご祝辞をいただき、その後、大阪ステンレス流通協会の青山雅雄理事長(スチール・代表取締役社長)による乾杯の発声で開宴した。



▲あいさつする古池支部長(左)、河上次長



▲あいさつする青山理事長

名古屋支部

開催日時：2025年1月9日(木) 開催場所：名古屋観光ホテル 那古の間
出席者：約400名

[特殊鋼倶楽部名古屋支部、名古屋ステンレス流通協会との3団体共催]

特殊鋼倶楽部が担当した今年も、特殊鋼倶楽部名古屋支部長の安部浩通氏(愛知製鋼・特殊鋼営業部長)があいさつに立ち、「昨年は自動車メーカーの認証不正問題や産業機械の需要低下、輸入材の増加による内外価格差の問題など、多くの課題に直面した。今年も予測困難な中であるからこそ、業界一丸、製販一体となり、我々の強みである高度な技術力、品質、納期対応力を最大限に生かし、持続可能な社会実現に貢献していこう」と呼びかけた。続いて、中部経済産業局産業部の柳原和男部長が来賓あいさつを行い、名古屋ステンレス協会の伊藤淳一理事長(中部ステンレス・代表取締役)が乾杯の音頭を取った。中締めでは樋田浩三名古屋支部長(三悦・代表取締役)が登壇し、「今年も三団体が協力して、さまざまな課題に取り組みながら中部経済を盛り上げていきたい」と述べ、三本締めで締めくくった。



▲あいさつする安部氏、柳原氏、伊藤氏、樋田氏(左から)

東北支部

開催日時：2025年2月14日(金)
開催場所：仙台国際ホテル 出席者：56名

冒頭、日下俊之支部長(クサカ鋼材・代表取締役)は物価高や人手不足などに言及し、特に価格転嫁の対応を強調。人手不足対策として「外国人労働者の活用も必要だが、まずは現社員、特に若手のスキル向上と働きやすい環境整備が賃上げにつながる」と述べ、6月に仙台で開催される本部定時総会への参加を呼びかけた。続いて、松林克明氏(大同特殊鋼・工具事業部工具鋼東京営業室長)から市況報告を含めてあいさつ。森高臣氏(関東鉄鋼・代表取締役)の中締めまで懇親が行われた。



▲あいさつする松林氏と多田専務理事、日下支部長(左から)



北関東支部

開催日時：2025年2月2日(日) 開催場所：伊香保温泉「ホテル木暮」 出席者：15名

宮内保支部長(小山鋼材・代表取締役社長)は、「昨年は自動車の品質問題などで需要が回復せず、厳しい一年となった。今年も、日産・ホンダの問題に加え、中国の不動産バブル崩壊や米中貿易摩擦、米国トランプ大統領によるカナダ・メキシコへの25%関税、中国への10%関税が、当業界へ影響があるのか不透明な状況が続いている。支部活動は、若い世代にも参加しやすい事業を行うなど活性化を図っていききたい」とあいさつした。続いて、根本直人氏(日本高周波鋼業・営業本部営業部東京営業室次長)が今年の市況展望を説明した。長谷川弘和副支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)が閉会の辞を述べた後、懇親会で親睦を深めた。



▲あいさつする宮内支部長(左)と総会の開催状況

静岡支部

開催日時：2025年1月23日(木) 開催場所：静岡グランドホテル中島屋
出席者：29名

三上裕介支部長(ノボル鋼鉄・専務取締役)は冒頭のあいさつで、「一昨年の支部長就任時に掲げたテーマの一つである会員数の拡大は、順調に実現できている」と報告。また、もう一つのテーマである「イベントの拡充」についても、第1回ゴルフコンペを開催し、他地区からの参加も得られてことを紹介し、「今後もこうした活動をさらに盛り上げていきたい」と意気込みを語った。続いて、松岳大樹中日本ブロック長(トーキン・代表取締役)は、「コロナ禍による世界の変容は元の状態に戻るのではなく、大きな転換点となった。今後は、大局観をもってマクロで状況を捉えつつ、当協会の意義や、流通の価値の対価をいかに得ていくかを、皆で考えていきたい」と述べた。最後に、中締めを務めた樋田浩三名古屋支部長は、「業界環境は厳しさが続く。世界情勢も不透明感が強いが、よくなる道筋も見える。流通同士はライバルでありながらも、協力できる部分はある」と話し、三本締めで閉会した。



▲あいさつする三上支部長、松岳ブロック長、樋田支部長

中国支部

開催日時：2025年2月7日(金) 開催場所：ステーキ懐石都 春日 出席者：40名
木村雅昭支部長(深江特殊鋼・代表取締役社長)があいさつし、「10年後には労働人口が半減する中、魅力ある業界でなければ生き残れない。利益率向上の発想転換が必要であり、コスト削減のノウハウを共有し、協力し合うことが重要だ」などと述べた。続いて、来賓の古池晃副会長が、「他支部では他団体との共催が多い中、中国支部が単独でこの会を開催できるのはすごい。社長だけでなく社員やその家族にも還元できる事業を進めてほしい」とエールを送った。その後、賛助会員を代表した川下康宏氏(アマダマシンナリー・代表取締役社長)が乾杯の発声を行い、会場はアトラクション性の高い料理の提供で盛り上がり、歓談が弾んだ。さらに、増田厚子副支部長(南海モルディ・広島事業所長)が「中国支部設立から10年が経ち、ウィンウィンの関係が築かれている」と述べ、最後に一本締めで閉会した。



九州支部

開催日：2025年1月7日(火) 開催場所：ANAクラウンプラザホテル福岡
出席者：195名(九州ステンレス流通協会との共催)

来賓の大岡泰正氏(三菱製鋼・執行役員鋼材営業部長)は乾杯のあいさつで、過去の已年における経済状況を振り返り、「前回の已年である2013年は、2008年のリーマンショックや2011年の東日本大震災から少しずつ景気が上向いてきた時期。今年も業界一丸となって、足元の停滞を乗り越えていこう」と述べた。中締めを務めた八木栄治九州支部長(白鋼・代表取締役社長)は「今年のラッキーカラーに触れ、皆さんラッキーカラーを身につけ、素晴らしい一年にしよう」と呼びかけ、会場を沸かせた後、一丁締めで会を締めくくった。



▲あいさつする大岡氏と八木支部長



チャイルド・スポンサーシップ

支援チャイルドからお礼の手紙が届きました!

全特協は2010年から、社会貢献活動の一環として国際NGO「ワールド・ビジョン・ジャパン(WBJ)」のチャイルド・スポンサーシップに参加しています。チャイルド・スポンサーシップとは、社会基盤や経済が不安定な国に暮らす子供たちを支援する、国際的な里親制度です。

このたび、私たちが支援している2人のチャイルドから手紙が届きました。チャイルドの成長の様子や、支援による生活の変化を知ることができ、この活動の意義を改めて実感できます。

全特協は、この国際支援活動に加え、国内の福祉活動にも目を向けながら、よりよい社会づくりに貢献していきたいと考えています。皆様のご理解とご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。



ジュモナちゃんの
動画はこちら

カトゥン、ジュモナちゃん(バングラデシュ)からの手紙

わたしは16歳で、今年中学校の10年生*です。

ワールドビジョンのスタッフが定期的に訪問し、成長を見守ってくれているので健康です。

※国ごとに教育制度が異なるため、チャイルドの学年が前年度と変わらない場合があります。

今年、ジュモナちゃんと家族が参加した活動や受けた支援

【学用品の支援】勉強や成長に必要な学用品を受け取りました。

【個人用衛生キットの支援】石けんや歯ブラシ、シャンプーなど、日常生活に欠かせない衛生キットを受け取りました。

【衛生に関する啓発】病気を予防し、健康を守るための衛生管理の方法を学びました。

【子どもの保護に関する啓発】自分の身を守る方法や、受け入れるべきでない行為を見極める知識を学びました。



ジョナリンちゃんの
動画はこちら

アルヴァレズ、ジョナリンちゃん(フィリピン)からの手紙

わたしは16歳で、今年高等学校の11年生*です。

ワールドビジョンのスタッフが定期的に訪問し、成長を見守ってくれているので健康です。

※国ごとに教育制度が異なるため、チャイルドの学年が前年度と同じ場合や、飛び級している場合があります。

今年、ジョナリンちゃんと家族が参加した活動や受けた支援

【食料支援】食料品の提供を受けることで、栄養状態と健康が守られました。

【価値観教育】周りの人に敬意を払いつつ、仲間からの悪い誘いを断り、危険を回避する方法を学びました。

【学用品の支援】学習や成長に必要な学用品を受け取りました。

【農業資源と肥料の提供】種や道具などの支援を受け、食料を生産し、収入向上につながりました。

【子どもの保護に関する啓発】子どもたちの権利を守り、育てるための知識を学びました。

チャイルド・スポンサーシップに関する記事は、「すてい〜」41号(2010.7)、45号(2011.12)、58号(2016.3)、64号(2018.3)、67号(2019.3)~69号(2019.12)、77号(2022.12)、80号(2024.3)に掲載されています。

2024年度 「第6回全国ボウリング大会」を開催

■大阪の全国大会に各支部12チームが結集——佐久間特殊鋼(名古屋代表)が初優勝

全特協は2024年11月30日(土)、大阪市中央区の心斎橋サンボウルにて「第6回 全国ボウリング大会」を開催した。本大会には、全国各支部の予選を勝ち抜いた11チームに事務局を加えた計12チームが出場。本部・支部役員を含む関係者65名が参加し、熱戦が繰り広げられた。

開会式では、久木田至会長が「歴代優勝チームの櫻井興産や伊藤忠丸紅特殊鋼はじめ、各支部の強豪チームが集結した。初出場は5チームとのこと。中には前日から現地入りし、熱心に練習に励んだチームもあると聞いており、皆さんの気合と熱意が伝わってくる。本日の熱戦を楽しみにしている」とあいさつした。

大会は、多田俊樹専務理事と古池晃大阪支部長の始球式で幕を開け、各レーンでは歓声が響く熱気あふれる展開に。白熱した試合の結果、トータル1023ピン(3人・2ゲーム制)を記録した名古屋代表の佐久間特殊鋼が団体初優勝を果たした。



久木田会長を中心に、左から男子個人優勝の川本氏、団体優勝を果たした佐久間特殊鋼の安田氏、上中氏、小林氏、そして女子個人優勝の畠田氏

第6回 全国ボウリング大会

団体・個人(男子・女子)成績表

2ゲームトータルピン数・3人1組(女性はHDPC20ピン/1G)

(敬称略)

団体の部	支部	チーム名	ピン数
優勝	名古屋	佐久間特殊鋼	1023
準優勝	東京	伊藤忠丸紅特殊鋼	998
3位	大阪	三和特殊鋼	894
4位	東京	大洋商事	879
5位	大阪	加藤鋼材	873
6位	静岡	ISSリアライズ静岡	832
7位	東北	藤田商事	823
8位	名古屋	櫻井興産	809
9位	九州	エムエム建材西日本	794
10位	北関東	鈴木機械	773
11位	中国	ISSリアライズ広島	770
12位		全特協・事務局	608

個人の部	プレーヤー名	チーム名	トータル
男子 優勝	川本 竜	伊藤忠丸紅特殊鋼	389
〃 準優勝	西川 清英	加藤鋼材	385
〃 3位	高橋 敏生	藤田商事(東北)	360
女子 優勝	畠田 麻由子	櫻井興産	284
〃 準優勝	飯塚 久美	鈴木機械	268
〃 3位	赤穂 広美	エムエム建材西日本	259



左から久木田会長、古池大阪支部長、藤戸社長、多田専務理事

懇親会では、久木田会長が「私は全特協の信条を『友好・信頼・勉強』と考えているので、皆さんもぜひさまざまな行事に参加してください」とあいさつ。続いて、古池大阪支部長が「今日の大阪は寒かったが、熱戦を繰り広げた皆さんに感謝します」と健闘を称え、乾杯発声した。

藤戸達也氏(平和鋼材・代表取締役)も、「すでに初雪が降った花巻から西は福岡まで。長旅にもかかわらず、熱戦を繰り広げ、素晴らしいスコアを記録された皆さまに感謝します」と述べ、成績発表と表彰式の司会を務めた。

歓談の後、多田専務理事が「実力を発揮できた方もいれば、思うような結果が出なかった方もいるかもしれませんが、大いに盛り上がり、素晴らしい大会になった。何より、ケガをされた方がいなかったことが一番のよろこびです」とあいさつし、中締めをした。

新・支部長訪問

九州支部

株式会社白鋼
代表取締役社長 八木栄治

新たなリーダーシップと活性化のビジョンで 九州支部の未来を切り拓く



■九州支部若返りのため暫定的に大阪支部から支部長を派遣

九州支部では2016年以来、吉永博氏(特殊鋼機・代表取締役社長)が長年にわたり支部長を務めてきた。しかし、近年は組織の若返りが課題となっていたため、適任者が支部正会員から現れるまでの暫定措置として、23年に大阪の前支部長だった久木田至氏が九州支部長を兼任し、八木栄治氏が支部長代理に就任して運営に担ってきた。

その八木氏が、昨年5月の支部総会で新支部長へと昇格。「吉永さんが築いてこられた基盤を、九州支部全体で協力しながらさらに発展させていくために、会員の意見を集約し、本部へしっかりと伝える橋渡しの役割を果たしたい」と抱負を語る。

■九州支部の活動と今後の展望

九州支部は地元企業を中心とした正会員5社に加え、支部会員14社、賛助会員8社で構成されている。その所在地は北九州から筑豊・筑後と範囲が広いと、頻繁に集まるのが難しいという課題がある。それでも、賀詞交歓会や「はがねの日」の清掃活動と野球観戦、ボウリング大会、工場見学会、ゴルフコンペなど、多彩なイベントを開催。しかし、九州ステンレス流通協会との共催に頼らざるをえない面もある。

「特殊鋼の会として、もう少し活気付けていきたいという思いとともに、

支部の立地要因から孤立することがないように、大阪・中国・九州の各支部を統括する西日本ブロックとしての連携を一層強化していきたい」と八木氏は意気込む。さらに、社員やその家族にも協会の魅力を感じてもらうための新たな試みとして、この3月に糸島の牡蠣小屋を訪れるバスツアーを企画した。「『入ってよかった全特協』というフレーズが大好きです」と語る八木氏は、全特協の役割について次のように述べる。「全特協は競合企業が集まる場でありながら、協業を促進する役割も果たしている。異なる企業が協力し、知識を共有することで、業界全体の発展につながっている。今後、その一員として、企業間の壁を越えて共に成長し、未来を切り拓く場であることを再認識している」と、協会の意義を強調した。

■特殊鋼流通業界で40年のキャリアと先代社長への感謝の念

1967年10月、東大阪市生まれの八木氏は、高校卒業後、父親の勝治氏(現会長)が創業した白鋼に入社。特殊鋼流通業界でのキャリアは今年で40年を迎えた。「いわゆる『他家の釜の飯』を食ったことがない私に、現場作業から営業、そして経営まで、厳しく育ててくれた父には、先代社長として大きな尊敬の念を抱いている」と語り、父の教えが自分を支えてきたことを強調した。また、20歳そこそこで入会した「青樹会」では、業界の先輩

たちにかわいがられながらも、時には厳しく指導を受けた経験を今も大切にしている。「父と業界の先輩方から学んだことが、私がかこまでやってこれた大きな要因。その経験を後進にも伝え、受け継いでいく重要性を自覚した」と振り返る。

■プライベートでは2頭の姉妹犬が大きな癒やしに

八木氏はプライベートでは、関西の業界の仲間たちと鳴尾ゴルフ倶楽部でゴルフを楽しむほか、最近では健康管理や基礎体力の維持を意識してジムにも通う。日常の癒やしは、2頭のジャック・ラッセル・テリア。5歳と2歳で、同じブリーダーから譲り受けたこともあり、偶然にも同じ両親から生まれた姉妹犬であることが八木氏のお気に入りのポイントだ。活発な犬種であり、毎日約1時間の散歩がよい運動になっている。

「寝るときは毎晩、姉妹そろって私の布団に入ってくるんですよ」と、八木氏はうれしそうに目を細める。



理事会・委員会報告

■運営委員会

○第48回運営委員会

日時：2025年1月20日(月) 15:00～17:00 於：東京・経団連会館

内容：第1号議案 2025年度事業計画の基本方針及び予算(案)の件
第2号議案 第13回定時総会講演会講師の件
第3号議案 定款の一部変更(案)の件
第4号議案 創立30周年記念事業(案)の件

[報告事項]

- ①各委員会委員長等報告
- ②各支部支部長等報告
- ③特定技能外国人材への対応状況(アンケート調査)について
- ④第6回全国ボウリング大会の結果について
- ⑤デジタル庁事業等への対応状況について
- ⑥下請法改正に向けた事業者団体説明会について

■人材育成委員会

【特殊鋼販売加工技術検定試験委員会】

○上級編問題選定会議

日時：2025年2月6日(木) 15:00～16:30 於：安保ホール

内容：①2024年度の販売加工技術講座実施状況について
②2024年度特殊鋼販売加工技術「上級編」検定試験の問題選定について
③検定試験、採点及び合否判定等スケジュールについて

■調査研究委員会

○第47回調査研究委員会

日時：2024年12月16日(月) 15:30～17:00 於：大阪・鉄鋼會館

内容：①特殊鋼流通統計調査の集計推移について
②第111回(7-9月)景況アンケート調査報告について
③第112回(10-12月)景況アンケートの設問について
④第23回経営環境等に関するアンケートの設問について
⑤各種調査報告書のペーパーレス化の実施について
⑥2025年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑦次回委員会日程について

■内外交流委員会

○第25回内外交流委員会

日時：2025年2月19日(水) 15:30～17:00 於：安保ホール

内容：①2024年度の事業実績見込及び取支見込について
②2025年度海外視察先中東欧の内容について
③2025年度の事業計画(案)及び取支予算(案)について
④次回委員会開催日程について

■経営効率化委員会

○第29回経営効率化委員会

日時：2025年2月17日(月) 15:30～17:00 於：安保ホール

内容：①前回経営効率化委員会の議事録報告について
②2024年度玉掛講習会の補助金支給について
③2024年度事業及び取支実績実績見込みについて
④第6回全国ボウリング大会の結果報告について
⑤第7回全国ボウリング大会の実施計画について
⑥2025年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑦次回委員会日程について

■広報委員会

○第34回広報委員会

日時：2025年2月12日(水) 15:30～17:00 於：安保ホール

内容：①広報誌「すてぃーる83号」の校正確認について
②広報誌「すてぃーる84号」の内容検討について
③2025年度事業計画(案)及び予算(案)について
④次回委員会開催日程について

■青年部会

○第28回青年部会正副部会長会議

日時：2025年2月4日(火) 15:30～17:00 於：安保ホール

内容：①2024年度の事業及び取支予算の実績見込みについて
②第34回運営委員会の日程・内容について
③第25回定時総会のバンコク開催について
④「はがねの日」アピール用小物品『メモ帳』の作成について
⑤2025年度青年部会事業計画(案)及び予算(案)について

事務局だより

1 第13回定時総会の仙台開催について

今年の第13回定時総会は、初めて宮城県仙台市において以下の内容での開催を予定しております。改めて開催のご案内を申し上げますので会員の皆様奮ってご参加ください。

- (1) スケジュール …… 2025年6月16日(月)14:00～19:15の予定
- (2) 場所 …………… ウェスティンホテル仙台(住所:仙台市青葉区一番町1-9-1 電話:022-722-1133)
- (3) 内容 …………… 定時総会 14:00～15:10の予定
講演会 15:40～17:10の予定
懇親会 17:30～19:15の予定

2 2025年度特殊鋼販売技士・加工技士の研修講座開講スケジュールについて

講座名	講座形態	講座の内容	実施時期
【販売技士入門編】	eラーニング講座	特殊鋼を学ぶために必要な金属の基礎知識	2025年4月・7月・10月
【販売技士3級】	ZoomによるWEB講座	特殊鋼の基礎知識	2025年5月～6月
【販売技士2級】	//	特殊鋼の熱処理	2025年8月～10月
【販売技士1級】	//	特殊鋼の特性と事故例	2026年1月～3月
【加工技士基礎編】	対面講座	図面の読み方描き方	2025年10月～12月

3 4月1日は「はがねの日」のPR小物品の『メモ帳』を配布(青年部会)

当協会では、4月1日を「はがねの日」と制定し、2005年より各支部においてボウリング大会や記念コンサートなど種々イベントを実施しています。

また2016年には、(一社)日本記念日協会に記念日登録を申請し、4月1日は「はがねの日」と認定・登録されました。

この度青年部会では、広報活動の一環として「はがねの日」のPR小物品の『メモ帳』を制作しましたので、正会員・賛助会員各位に送付します。

広く世の中に4月1日は「はがねの日」であることを周知していただくため、会員各位の従業員の方々や営業用途等にご使用・ご活用下さい。

4 各調査報告書のペーパーレス化の実施について(調査研究委員会)

当協会の調査研究委員会では、毎月発行の「特殊鋼流通統計調査集計表」、四半期毎の「景況アンケート調査報告」、一年毎の「経営環境等に関するアンケート調査結果」は、これまで印刷した紙媒体での報告書を会員の皆様方に送付していました。(但し、特殊鋼流通統計調査集計表の一部は既にメール配信を実施しています)

しかしながらペーパーレス化の推進による環境負荷低減の目的や、業務効率改善・コスト削減の観点、印刷業者の廃業などにより、2025年4月以降発行分より紙媒体での報告書の郵送を廃止します。

今後は、当協会のウェブサイト(ホームページアドレス<http://zentokkyo.or.jp>)にアクセスしていただき、各報告書をご覧下さい。

編集後記

会員の皆様、賛助会員の皆様、日頃は全特協の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

ついこの間、年始のご挨拶をさせて頂いたものがあった間に3月となりました。

アメリカ大統領にトランプ氏が帰りがき、米国指導型の政策による外交が始まり、日本国内にもかなりの影響を及ぼす事が予測されますが、インバウンドによる観光収入だけが見込まれる一年になりそうです。

さて、「すてい～るVol.83」では祝賀会としては5年ぶりの賀詞交歓会と各支部の様子も掲載させていただきます。ご覧いただけますようお願い致します。

今年は10年に一度のとか言われる大寒波の襲来によりまだまだ寒さ続くようですが、春の足音も間もなくと思われ

ます。御身体ご自愛いただけますようお願い申し上げます。

広報員会広報委員長 八木 栄治